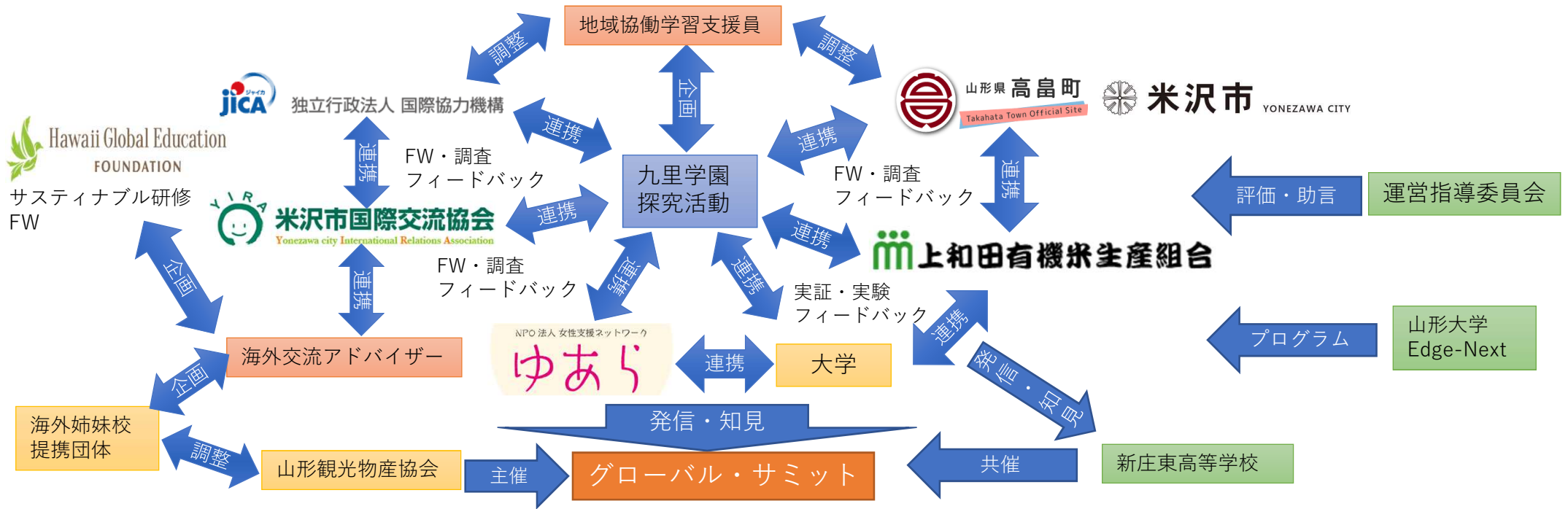


世界に誇れる持続可能な置賜を創造する人材の育成

この地域は他の地方小都市同様に過疎化と少子化による人口減少をはじめとした多くの課題を抱えている。一方で、大学、企業や自治体がそれぞれ独自の目標を持ち、地域創生をはじめとする独自の取り組みを行っているが、有機的な結びつきはなく、単発的なものとなっている。また、グローバル社会の中で、グローバルな視野を持ちながら地域をイノベーションできる素地がない。一方で、本校での探究活動も多様な取り組みを行っており、生徒の自発的な課題研究へもつながってきているが、外部との連携に課題を抱え、国内でのフィールドワークや調査が不十分なため、満足のいく研究が出来ずに終わってしまっている。これからのSociety5.0時代の教育を考えたとき、地域との協働で生徒の個に対応した幅広く多様な教育プログラムの構築は急務である。



今年度の目標

- 地域協働・学校プロジェクトの始動・実践とコンソーシアムとの基盤作り
- 台湾でのグローバル・サミットの実施
- 教科横断型学習の全教科計画策定と研究授業実施
- 姉妹校提携と海外プログラム作成
- 校内研究推進体制の確立

成果

- 「食と健康」「子ども食堂」「多文化共生」3プロジェクトをコンソーシアムと協働で実質的に始動、実践し、成果の報告まで行う。
- 学校プロジェクト運営の知見を得る。
- サミットは企画、連携、準備まで行ったが実施直前に中止。しかし、協力団体との目的の共有と連携ができた。
- 台湾の2校及びフィリピンの1校と姉妹校提携の協議、合意形成。台湾1校と連携協定を結ぶ（他2校は次年度締結式）
- 事業成果の発信とそれによる賛同者、団体の増加。（新しい連携の可能性）

課題

- コンソーシアム全体会議による目的・ビジョンの明確化と共有
- 探究学習における質の向上（探究学習メソッドの開発と定常的な高大連携）
- 教科横断型学習についての研究・実践
- カリキュラム・マネジメント
- 校内研究推進体制の確立と教員の研鑽
- 姉妹校との効果的な学術交流プログラムの構築